

第2章 計画の策定手順

1. 策定に当たり

第五次名張市障害者福祉計画を策定するに当たっては、「名張市障害者施策推進協議会」を中心に、国や県の計画、名張市障害者福祉計画策定に係る障害者福祉に関するアンケート調査（以下、「基礎調査という。」）結果等を踏まえ、本市の障害者施策の方針の検討と課題の抽出を行い、本計画を作成しました。その際に、既に施策を推進している名張市総合計画「新・理想郷プラン2016～2025」や「名張市地域福祉計画」、「健康なばり21計画」等との整合性や連携にも留意しました。

なお、用語については、法令で用いられているものを使用することを原則としました。

2. 基礎調査の実施

本計画を策定するに当たり、本市に在住している身体障害者・知的障害者・精神障害者の実態及び一般市民等も含めた意識を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に基礎調査を実施しました。

（1）調査対象者

1）障害者手帳所持者及びその家族・介護者

- 各障害者手帳をお持ちの人（障害者本人用アンケート）
- 障害者のご家族または介護者（障害者家族用アンケート）

2）一般市民

- 無作為抽出による一般市民（一般用アンケート）
 - ・居住地を15地区に区分
（名張、鴻之台・希央台、蔵持、薦原、美旗、比奈知、錦生、赤目、箕曲、国津、桔梗が丘、つつじが丘、すずらん台、梅が丘、百合が丘）
 - ・年齢を8段階に区分
（20歳未満、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70～79歳、80歳以上）
 - ・各地域の各年齢段階における男女比により調査対象者数を算定し、居住地と年齢と性別の3要因から抽出

3) 小学生・中学生・高校生

- 市内の小学5年生（小学生用アンケート）
- 市内の中学2年生（中学生用アンケート）
- 市内の高校2年生（高校生用アンケート）

※いずれも2018（平成30）年4月1日現在

(2) 調査期間

2018（平成30）年11月、12月

(3) 調査方法

郵送等による調査表の配布・回収

(4) 配布回収数

	配布数 (a)	有効回収数 (b)	回収率 =(b) ÷ (a)
障害者本人用アンケート	750	424 (男性209名、女性211名、不明4名)	56.5%
障害者家族用アンケート	750	386 (男性201名、女性173名、不明12名)	51.5%
一般用アンケート	2,030	1,014 (男性442名、女性570名、不明2名)	50.0%
小学生用アンケート	663	633	95.5%
中学生用アンケート	643	591	91.9%
高校生用アンケート	505	490	97.0%

(5) 基礎調査結果の活用

基礎調査の結果については、本計画の分野別に「基礎調査結果」として掲載し、内容を「施策の目標」に反映しました。

また、基礎調査結果につきましては、本市のホームページにも掲載します。